

### 3 子ども未来部各課の仕事と課題など

課の名称	業務内容、課題など	
子ども政策課	<b>【主な業務内容】</b> ・子ども及び子育てに関する施策の企画、調査及び総合調整を行います。 ・少子化対策に関する施策を統括・調整しています。 ・福祉事務所の事務(子ども未来部が分掌する事項に限る)の調整を行います。 ・部内の財務及び庶務を総括しています。	
	課題①	公立保育所民営化の推進
	取組内容	岐阜市公立保育所民営化基本計画に基づき、公立保育所の民営化を推進します。
	実施状況	令和5年4月から民営化する3保育所について、円滑な移管となるよう合同保育等を進めます。
	課題②	高島屋南地区公共施設整備事業(子育て支援施設)
	取組内容	高島屋南地区再開発ビル柳ヶ瀬グラスル35内に開設する子育て支援施設の開館準備を進めます。
	実施状況	開館準備
	課題③	男性の育児参画支援(ぎふし共育都市プロジェクト)
	取組内容	夫婦で共に子育てを行う「共育」する家庭を増やし、合計特殊出生率の増加を目指します。
実施状況	プロポーザルにて事業者を選定し、パパ大学等の事業を実施します。	

課の名称	業務内容、課題など	
子ども若者・総合支援センター“エールぎふ”	【業務内容】 【対象者】 【相談内容】	0歳～20歳前までの子ども・若者の不安や悩みに関する相談・支援を行います。 子ども・若者本人、保護者、教職員など ・育児やしつけなどの子育てや養育 ・乳幼児期、学齢期等の発達に関する相談・支援 ・不登校や教育全般に関する相談・支援 ・問題行動、いじめ、非行、就学・就労に関する相談・支援 ・「親子教室」「幼児支援教室」「子ども・若者自立支援教室」の運営 ・医師、弁護士、カウンセラーによる専門相談
	課題①	児童虐待防止対策の強化
	取組内容	平成31年4月に、“エールぎふ”に「子ども家庭総合支援拠点」を設置し、在宅支援に重点をおいた児童虐待未然防止の強化を図ります。 また、令和4年4月に、岐阜県中央子ども相談センター地域連携課と岐阜県警察本部少年サポートセンター分室の職員が“エールぎふ”内に入居し、児童虐待事案等について連携して対応するため「こどもサポート総合センター」を設置しました。児童虐待事案等について、より迅速かつ適切に対応し、重大事案の未然防止に繋がります。
	実施状況	児童虐待事案については、岐阜県中央子ども相談センターと全件共有し、安否確認等を含め関係機関と連携を図り対応しています。また、心理専門職員の配置により、その専門性を生かした支援を進めています。
	課題②	子ども・若者の理解と適切な支援
	取組内容	子ども・若者の困り感とそれにつながる要因を把握し、一人一人の特性に応じた支援ができるよう保護者や指導者に具体的な助言を行います。(発達段階によって本人への助言も含む)
	実施状況	困り感をもつ子ども・若者が所属する幼稚園、保育所(園)、学校等を訪問し、保育・授業参観や聞き取り等を通して実態を把握し、情報を整理した上で支援方法等の助言を行っています。また、必要に応じて発達検査・フィードバックを行い、保護者と指導者の間で支援方法の共通理解を図ったり、社会資源を紹介したりしています。
	課題③	家族支援の強化
	取組内容	家族相談の機会を増やすとともに、「ゆったりゆったり」「ぼちぼちいこか」「ゆうゆうと」の3つの保護者の会やペアレント・トレーニングを実施し、保護者が子どもとの関わり方を学べる場、保護者同士の繋がりをつくり、子育て不安の軽減につながる場を提供します。
	実施状況	「ゆったりゆったり」を年7回、「ぼちぼちいこか」を年10回、「ゆうゆうと」を年5回、計画しています。ペアレント・トレーニングも、感染症対策に十分配慮した上で、進めています。保護者どうしで語り合い、学び合うことで、子育て不安の軽減を目指しています。
課題④	関係機関とのネットワークの構築	
取組内容	複雑多岐に渡る相談内容に対し、関係機関とネットワークを構築し、各機関の強みを生かした支援ができるよう連携を強化します。困り感を抱く子ども・若者本人のみならず、その家族を地域で支えるネットワークを構築します。	
実施状況	岐阜市要保護児童対策地域協議会や“エールぎふ”ネットワーク会議等を開催し、ケースの進行管理や事例研究を通して、望ましい支援の在り方を検討しています。スクール・ソーシャル・ワーカーを中心とした拡大ケース会議を実施し、複数の目による見守りと支援ができる体制整備を進めています。	

課の名称	業務内容、課題など	
子ども支援課	<p><b>【主な業務内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童手当、児童扶養手当の認定支払事務を行っています。</li> <li>・私立幼稚園での幼児教育無償化に関する認定支払事務を行っています。</li> <li>・小児慢性特定疾病医療、養育医療、育成医療（自立支援医療）の認定支払事務、不妊治療費、不育症検査費の助成を行っています。</li> <li>・育英資金、母子父子寡婦福祉資金の貸付事務を行っています。</li> <li>・女性への暴力に関する相談、ひとり親家庭へ就業等自立に向けた相談支援などを行っています。</li> <li>・市内各地域にある「子どもの遊び場」の遊具等の点検整備を行っています。また、児童館・児童センター、ドリームシアター岐阜の管理運営を指定管理者に委託しています。</li> <li>・未就園の多胎児を養育する家庭を対象に、ファミリーサポートセンター事業の利用料を、1年間に限定し年間30時間まで利用料を助成しています。</li> <li>・児童養護施設退所者への新生活応援の給付のための寄附金を企業・個人の皆様から募集・受付を行っています。</li> <li>・その他、子ども・子育てにかかる制度案内などを行っています。</li> </ul>	
	課題①	私立幼稚園利用者への幼児教育無償化事業の円滑な実施
	取組内容	幼児教育無償化を実施するため、保護者への認定業務、保育認定者への預かり保育、副食費の償還払い等業務を実施します。
	実施状況	令和5年3月現在約6,000人の保護者に施設等利用給付認定をしています。認定期間到来者へは、変更の手続きを随時依頼します。保育の必要性のある2号認定等の方への預かり保育の償還払いや、副食費の償還払いの対象者へ案内し、円滑な支払いに努めます。
	課題②	ひとり親家庭等に対する支援の強化
	取組内容	ひとり親家庭生活実態調査の結果をとらえ、ひとり親家庭の経済的自立に向けた支援として、従前からのメニューと新たな支援策を結び付け、きめ細かな支援策を推進します。
	実施状況	ひとり親家庭就業・自立支援センターへの委託事業として、看護学校受験個別支援、就職面接等用のスーツ貸出を行うほか、離婚にかかる養育費相談、技能講習、就業相談など実施します。令和3年度より公正証書等の作成費用を助成することで、ひとり親の養育費の債務名義（調停などの裁判所における取り決めや公正証書）取得を促進します。
	課題③	児童養護施設退所者への新生活応援の給付のための寄附金の募集
	取組内容	児童養護施設の子どもたちの多くは、退所後自活を余儀なくされ、一般と比べ経済的に不利な面が多くあることから、退所者の進学・就労のスタートに際し、新生活応援金を給付することで将来的に安定した生活につなげられるよう支援します。頑張る若者を応援したい企業・個人の皆様から寄付を募り、若者が社会で孤立しないよう、社会全体で支える仕組みを構築します。
	実施状況	令和5年3月現在、企業・個人合わせて23件、約250万円のご寄附をお預かりしました。今後も随時、企業・個人の皆様からのご寄附をお待ちしています。

課の名称	業務内容、課題など	
子ども保育課	<b>【主な業務内容】</b> ・市内の保育所(園)等への入所案内(毎月)や保育料等の認定事務、施設型給付事務を行っています。 ・市内にある公立保育所17か所を運営・管理しています。 ・市内の民間保育園、認定こども園、小規模保育等の認可・指導を行っています。 ・市内の保育所(園)等の給食(献立計画)関連業務を行っています。	
	課題①	「待機児童数」ゼロの継続
	取組内容	毎年増加傾向にある保育ニーズの把握に努め、それに応じた供給量を確保するため、民間事業者の施設整備等に向けた協議の推進や公立保育所の定員見直しなどを検討していきます。
	実施状況	「待機児童数」ゼロを継続しています。
	課題②	市内の保育所(園)等の資質向上
	取組内容	公立保育所や民間保育園等に勤務する職員(保育士等)を対象とした、様々な研修(学習会)を定期的に行っています。また、各施設への現地監査を計画的に実施しています。
	実施状況	基本的な感染防止対策を実施しながら、今年度は研修(学習会)を計画通り開催しました。また、各施設に対する監査は、年間を通して計画通り実施しています。
	課題③	安全・安心な保育の提供
	取組内容	障がい児などへの適切な支援、食物アレルギー児童への対応、感染症などの予防策など児童の安全・安心を確保していきます。
	実施状況	特に、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、様々なリスクの低減に向けた取り組みを実施しています。